

測機システム 顧客企業のデータ保護に寄与する 「サイバープロテクトサービス」を Acronis Cyber Protect Cloud で実現 サブスク型の新たな収益モデルも確立

Acronis Cyber Protect Cloudで
中小企業の顧客が特別に意識することなく
バックアップやセキュリティ対策を
行える環境が実現できました。

事業の概要

沖縄県・那覇市に本社を置く測機システムは、計測・測量機器の販売やリース／レンタル事業を手掛ける企業です。同社では「安定した『はかる』を提供し、社会・経済・環境の発展に貢献できる企業を目指します」の経営理念の下、土木・建設業や測量、設計、土地家屋調査士などの顧客に対し、幅広い領域にわたるソリューションを提供しています。

同社営業部 野原 修一氏は「製品販売はもちろんのこと、点検・修理などのアフターフォローまで自社内で完結できる総合力が当社の強み。持ち前の技術力と豊富な経験・ノウハウを活かし、多種多様なお客様ニーズにしっかりとお応えしています」と力強く語ります。こうした姿勢は業界でも高い支持を得ており、測量機器の販売・レンタル事業において約3割の県内シェアを獲得。中でも測量設計、土地家屋調査士などの分野については、県内事業者の約半数が同社の顧客となっています。

ビジネス上の課題

このように躍進を続ける同社ですが、ビジネス面での課題も抱えていました。それは顧客の重要業務データをいかにして守るかという点です。野原氏は「近年では建設・測量業界においてもIT化が進んでおり、当社でも測量CADをはじめとする様々なソリューションをご提供しています。しかしその一方で、データ保護の重要性については、まだまだ認識が不十分な面があります」と語ります。

たとえばある顧客では、定期的なデータコピーを行っていたものの、スケジューリングしていたはずのタスクがいつの間にか停止。その事を把握することが出来なかったために、有効なバックアップデータが数年前のものしか残っていないケースがありました。また、手動で外部メディアへの保管を行っていた別の顧客では、いざリストアの必要性が生じた際に、どれが最新版のデータか分からずに困ったケースがあったと言います。「土地家屋調査士の場合、過去に行った測量に関する紛争が発生した場合に、どんなプロセスを経て確定測量が行われたのか振り返るために、データを長期間にわたり保存しておく必要があります。しかし、データ保存先であるPCが故障するリスクをあまり強く感じておられないお客様が多い」と野原氏は続けます。

こうした問題を解決すべく、同社では2019年よりバックアップサービスの提供を開始。野原氏は

業種・業態

測量機器販売・修理・レンタル業

主な課題

- 顧客先においてしばしば発生しているPC故障等によるデータ損失への対応

主な要件

- 自社内へのサーバー導入などの煩雑な作業なしにサービスを提供できること
- テナントやユーザーの管理が単一のコンソールから容易に行えること

ITインフラ

- Windowsクライアント環境

主なメリット

- 顧客企業がセキュリティやバックアップを意識することなく安全にビジネスを遂行できる環境を実現
- サブスク型サービスを提供することで、既存の販売・レンタル事業を補完する新たな収入源を確保

「バックアップを確実に取得でき、データもきちんと管理できる体制が無いことがそもそもの原因です。とはいえ、本業で忙しいお客様にとっては、そこまで手が廻らないのが実情です。そこで、当社がしっかりとしたデータ保護の仕組みを提供しようと考えました」と語ります。

この取り組みは顧客からも好評を博し、3年間で20社以上の導入実績を獲得。「ただし、お客様が増えるに連れて、テナント管理をよりきめ細かく行いたいといったニーズも生じてきました。また昨今では、サイバーセキュリティ対策も重要な課題ですので、サービスの内容をさらにもう一歩進化させたいと感じていました」と野原氏は振り返ります。

ソリューション

こうした時に出会ったのが、「Acronis Cyber Protect Cloud」です。「前述のバックアップサービスで『Acronis Backup』を採用していた経緯もあり、Acronis製品の情報収集を行っていたところ、Acronis Cyber Protect Cloudの存在を知りました。自社内にサーバーを立てたりしなくとも、お客様向けサービスが作れるのは非常に魅力的でしたね。しかもバックアップ機能に加えて、脆弱性管理やマルウェア/ランサムウェア対策などの機能も提供できます。そこで、2022年4月より、Acronis Cyber Protect Cloudをベースとした『サイバープロテクトサービス』を新たにリリースしました」と野原氏は説明します。

このサービスでは、「システムバックアップ」「Advancedマネージメントパック」「Advancedセキュリティパック」の3つのメニューを用意。顧客企業の状況やニーズに応じて、これらを自由に組み合わせることが可能です。野原氏はその特長を「まず、システムバックアップでは、『Acronis Cloud』へのクラウドバックアップが行える点大きい。ご存じの通り沖縄は台風が多く、風水害でPCが破損したお客様もいらっしゃいます。こうした際にも重要データを保護できるのは、BCPの観点からも非常に重要です」と語ります。また、Advancedマネージメントパックでは、PCのセキュリティ更新状況を確認することで、脆弱性が放置されるような事態を防止。さらに、Advancedセキュリティパックでは、より高度なマルウェア対策機能やPCの遠隔消去機能なども提供されます。

加えてもう一つ見逃せないのが、リーズナブルな価格体系です。

野原氏は「当社のお客様は中小企業や個人事業主の方も多い。そこで基本料金を一拠点あたり2,000円とし、システムバックアップは1GBあたり22円から、またAdvancedマネージメントパック/セキュリティパックがそれぞれ380円/240円からと、最小限のご負担で導入頂けるようにしています」と語ります。

効果と展望

サイバープロテクトサービスを早速導入し、その効果を実感している企業も多いとのこと。たとえばある顧客では、測量CAD用のPCが障害に見舞われましたが、わずか半日ほどでバックアップからの復旧が行えました。「これがゼロからの再インストールとなると、リカバリーメディア

やプロダクトキーを顧客先で探すところから始めることもあり、右往左往するようなケースも珍しくありません。復元に成功したお客様からも『業務を長時間止めずに済んで助かった』と安堵の声が聞かれました」と野原氏はこやかに語ります。人的・時間的リソースに限りのある中小企業や個人事業主にとっては、バックアップやセキュリティを同社に任せて、本業に集中できることも大きなメリットと言えます。

加えて同社のビジネスにとっても、Acronis Cyber Protect Cloudを採用した意義は大きかったと野原氏。「当社の主力製品である測量機器や測量CADは、そうそう買い替えるものではありません。それだけに、継続的な収入が見込めるサブスク型のサービスを新たに立ち上げられたのは非常に良かった。セキュリティの話をきっかけに、新たな商談が生まれるケースもあります」と満足げに語ります。もちろん、これだけのサービスを自前ですべて作る

となると大変ですが、Acronis Cyber Protect Cloudならその点も容易にクリアできます。「当社では、以前からAcronis製品に習熟していたこともあり、導入決定からサービスインまでの期間も一週間程度しか掛かっていません。他のソリューションでは、とてもこれほどのスピード感は望めなかったでしょう。テナントやユーザーの管理も統合コンソールから簡単に行えますので、社内での作業負担が大きく増えるようなこともありませんね」と野原氏は続けます。

同社では、今後もサイバープロテクトサービスをビジネスの新たな柱として育てていく考えです。野原氏は「Acronis Cyber Protect Cloudには、今後EDRなどの新機能も追加されていく予定と聞いています。当社としてもサービスの拡充を図り、お客様への貢献を果たしていきたい」と今後の抱負を述べました。

「お客様のデータ保護に貢献するサービスを容易に構築できたことは大きな成果。今後も当社のビジネスを支える新たな柱として、サービス内容の拡充に努めていきます。」

株式会社測機システム
営業部 ICT推進課 課長
野原 修一 氏

